

日语文章读解

科学技术文献出版社



日语文章读解

吕林 编著

科学技术文献出版社

日语文章读解

吕 林 编著

科学技术文献出版社出版

(北京复兴路15号)

北京印刷一厂印刷

新华书店北京发行所发行 各地新华书店经售

787×1092毫米 1/32开 8.5印张 138千字

1990年12月第1版 1990年12月第1次印刷

印数：3000册

社科类书号：260—279

ISBN 7-5023-1315-X/H·37

定价：8.50元

前 言

随着改革、开放形势的发展,学习日语的人员日渐增多,达到一定水平之后,迫切需要阅读大量日语文章,借以提高分析、阅读、翻译日语文章的能力。

为了满足社会上广大读者的需要,编者广泛收集了日本书刊近几年刊登的日语文章读解題,汇编成此书。本书内容把分析、阅读文章与試題结合起来,使读者学习时,不仅能提高分析、阅读日语文章的综合能力,还可以适应各类考試的要求,提高应试能力,以满足多方面的需要。

本书选用的題材广泛,内容丰富,共有七个方面的五十篇文章。计有:语法类文章十篇、隨筆三篇、书信两篇、科技类文章十二篇、评论文十二篇、诗三篇、小说八篇。为了供读者参考,本书中还选编了高教部选拔赴日留学人员日语試題中的两篇读解文章,以供读者对比出国考試所要求的水平。

本书选材新颖,涉及面广,命题形式多样,别具一格,编排上也尽量循序渐进,由浅及深,可供学习日语达到一定水平的各类人员用来巩固语法知识,提高阅读、分析日语文章和应试的能力。本书可以作为学习日语用的一本好参考书向广大读者推荐。

本书后附答案,供读者参考。

书中难免有不足之处,敬希读者指正。

吕 林

1990 年

目 录

一、语法类文章	(1)
读解文章 1	(1)
读解文章 2	(2)
读解文章 3	(4)
读解文章 4	(7)
读解文章 5	(11)
读解文章 6	(14)
读解文章 7	(17)
读解文章 8	(19)
读解文章 9	(21)
读解文章 10	(23)
二、书信	(26)
读解文章 11	(26)
读解文章 12	(28)
三、随笔	(32)
读解文章 13	(32)
读解文章 14	(34)
读解文章 15	(36)
四、科技类文章	(40)
读解文章 16	(40)
读解文章 17	(46)

读解文章 18	(49)
读解文章 19	(52)
读解文章 20	(57)
读解文章 21	(62)
读解文章 22	(66)
读解文章 23	(70)
读解文章 24	(74)
读解文章 25	(77)
读解文章 26	(82)
读解文章 27	(86)
五、评论文	(92)
读解文章 28	(92)
读解文章 29	(96)
读解文章 30	(99)
读解文章 31	(101)
读解文章 32	(104)
读解文章 33	(106)
读解文章 34	(109)
读解文章 35	(115)
读解文章 36	(119)
读解文章 37	(122)
读解文章 38	(125)
读解文章 39	(128)
六、诗	(132)
读解文章 40	(132)
读解文章 41	(137)

读解文章 42	(139)
七、小说	(143)
读解文章 43	(143)
读解文章 44	(146)
读解文章 45	(151)
读解文章 46	(158)
读解文章 47	(163)
读解文章 48	(167)
读解文章 49	(171)
读解文章 50	(174)
八、参考试题	(179)
参考试题 1 (高教部选拔赴日留学人员 1983 年试 题)	(179)
参考试题 2 (高教部选拔赴日留学人员 1985 年试 题)	(183)
九、答案	(190)

一、语法类文章

读解文章 1

次の会話文の中の①、②、③、④の□の中に入る適当なことを書きなさい。

「きみ、ここから出れるよ。」

「おや、『出れる』というのは変だね。『出ることが出来る』という意味のときは、『出られる』だろう。」

「しかし、『取ることが出来る』を『取れる』と言い、『乗ることが出来る』を『乗れる』と言うよ。」

「それはね、『取れる』・『乗れる』は、『取る』・『乗る』の可能動詞だよ。」

「それなら、『出る』の可能動詞は『出れる』だろう。」

「そうはいかないよ。『取る』・『乗る』は①□□□□活用の動詞だよ。可能動詞があるのは②□□□□活用の動詞だけだよ。」

「ああ、そうか。『出る』は③□□□□活用の動詞だから、可能の意味を表すには④□□□□形に『られる』をつけて『出られる』と言わなければならないんだね。」

「そうなんだ。だが、このごろは『出れる』という言い方もかなり用いられるようだね。」

- 答え: ①
 ②
 ③
 ④

生 詞

おや へん	(感)	哦、呀
変	(形動)	奇怪、异常
それなら	(接)	那样的话
だけ	(助)	只有、仅仅
だが	(接)	但是、可是
このごろ	(名)	近来
かなり	(副)	相当、很

読解文章 2

次の文章は「ことば」について生徒が質問し、先生が答えたものです。読んで、あとの問いに答えなさい。

生徒: 「まちがえる」と「まちがう」とではどちらが正しい標準語でしょうか。両方とも使われているようですが。

先生: 「まちがえる」と「まちがう」とには「建てる」、「建つ」、「あける」、「あく」などと同じような対立があると考えられます。つまり、「まちがえる」は()段活用のイ()動詞で、「まちがう」は()段活用のエ()動詞であるということになりま

す。(もちろん、^{こくご}国語には^{えいご}英語ほどはっきりした^{くべつ}区別はありませんが。)また、その意味も「まちがえる」は「AとBとをとりちがえる」、「まちがう」は「正しい基準にはずれる」という場合が多いようです。だからこれはどちらが正しいかという問題でなく、それぞれ別の^{べつ}はたらきを持ったことばと考えるべきで、それぞれに合った正しい^{つか}使い方をすべきです。

問1：先生の文のア、イ、ウ、エに適当な語を書き入れなさい。

ア () イ ()

ウ () エ ()

問2：先生の意見に^{したが}従えば、次の例は正しい使い方をしていますか。正しいものには○を、正しくないものには×をつけなさい。

①わたくしがまちがえて^{でんごん}伝言したというのですか。

()

②そんなやさしいことは、まちがえて書く人もいないだろう。

()

③他の人のとまちがって靴をはいて帰った人はいませんか。

()

④その結果のまちがえていることは、一見して明らかだ。

()

生 詞

まちがえる〔間違える〕(下一他) 弄錯、认错

まちがう〔間違う〕(五自) 错误

とも	(接尾)	全都
あける〔開ける〕	(下一他)	打开
あく〔開く〕	(五自)	开
つまり	(接)	就是说、总之
もちろん	(副)	当然、不言而喻
はっきり	(副、サ自)	清楚、明确
とりちがえる〔取違える〕	(下一他)	弄错
はずれる〔外れる〕	(下一自)	离开、不合
それぞれ	(名、副)	各自
はたらき〔働き〕	(名)	作用
べき	(助动)	应该、适当
あ 合う	(五自)	符合、一致
したが 従う	(五自)	按、跟随
でんごん 伝言	(サ他)	传话
はく〔穿く〕	(五他)	穿
いつけん 一見	(サ他)	一看
あき 明らか	(形动)	显然、分明

读解文章 3

次の文章で、——線①—⑦の用法は、あとのア—エのどれと同じでしょうか。記号で答えなさい。

なんという、さびしい景色だろう①と、人魚は思いました。自分たちは、人間とあまりすがたはかわっていない。魚や、また底深い海の中に住んでいる。気②の荒い、いろいろなけものなどと比べたら、どれほど人間の方だ、

心こころもすがたも似にているかしのれない。それなのに、自分たちは、やはり魚や、けものなど③といっしょにつめたい、暗くろい、気のめいりそうな海の中にくらさなければならないというのは、どうしたことだろうと思いました。

長い年月ながねんげつのあいだ、話はなしをする相手あいてもな④く、いつも明あかるい海のおもてをあこがれて、くらしてきたことを思いますと、人魚はたまらなかつたのであります。そして月つきの明るく照らす晩に、海のおもてに浮かん⑤で、岩いわの上に休んで、いろいろな空想くうそうにふける⑥のがつねでありました。

「人間の住まんでいる町まちは、美うつくしいということだ。人間は、魚よりも、またけものよりも、人情にんじやうがあつてやさしいと聞きいている。私たちは魚やけものの中に住まんでいるのが、もっと人間の方に近いのだから、人間の中なかにはいつてくらされないことはないだろう。」と人魚は考えました。

- アあなたと私と行く ()
- ① イ春が来たとつげる
- ウ昼と夜の差
- エそれを思うとつらい
- ア花の咲く庭 ()
- ② イ花のかおり
- ウ春のひざし
- エ夢のような一日
- ア二月となった ()
- ③ イ雨が降るといふことだ

- {ウ早く来るとよいのに
 エ友だちと遊ぶ
- ④ {ア山は高く、海は深い ()
 イなくなく帰って行く
 ウ行かなくてはならない
 エ話せなくなる
- ⑤ {アよろこんでする ()
 イあとでやろう
 ウはだしで走る
 エひでり続きで困る
- ⑥ {ア雪のとけたのがある ()
 イあなたのがほしい
 ウ言いだしたのがやるべきだ
 エ本を読むのがよい
- ⑦ {ア登るのがむずかしい ()
 イさがしたが見つからない
 ウ水が飲みたい
 エ春が来た

生 詞

なんという	(连语)	多么、何等、叫什么
さびしい〔寂しい〕	(形)	寂寞的、凄凉的
にんぎょ 人魚	(名)	人鱼(想象中的动物)
すがた〔姿〕	(名)	姿态、形体
かわる〔変る〕	(五自)	变化、不同
き 気	(名)	空气、性情

気が荒い		性情粗野
けもの〔獣〕	(名)	野兽
どれほど	(副)	多么, 怎样
それなのに	(接)	尽管、虽然
やはり	(副)	毕竟还是、仍然
つめたい〔冷たい〕	(形)	冷的、凉的
暗い	(形)	阴暗的
めいる〔滅入る〕	(五自)	沮丧、泄气
くらす〔暮す〕	(五自他)	生活、度日
たまらない	(形)	受不了, 不能忍受
照らす	(五他)	照耀
いつも	(副)	总是
おもて〔表〕	(名)	表面
あこがれる〔憧れる〕	(下一自他)	憧憬、向往
浮かぶ	(五自)	漂浮
ふける〔耽ける〕	(五自)	沉迷于
つね〔常〕	(名)	经常
やさしい〔優しい〕	(形)	温柔、亲切
もっと	(副)	更

读解文章 4

次の文章中の①—⑤のことばと同じ意味で使われている文を、あとのそれぞれの用例から選び、記号で答えなさい。

わたしがバスで通学するようになった最初の日のこと

である。

バスはつかまるところもないほどこんでいた。わたしは、いっぱいにくらんだかばんを両手でにぎりしめ、足をふんばる①ようにして立っていた。それでも、大きなかばんがじゃまになって、バスがゆれるたびにのめりそうになった。そのときわたしの前にすわっていた女生徒が、「どうぞ。」と言って、手をさしのべてくれた。わたしはえんりよ②もせずに「すみません。」と言い③ながら、かばんを渡してしまった。

その後、何回かかばんを持ってもらった。しかし、いつも持ってもらって④ばかりいないでたまには持ってあげたいなと思っていた。ところが、いざすわってみると、恥ずかしくてなかなか言い出せないで、迷っているうちに降りるようになってしまう。

そんなことが二、三回続いたある日、思いきって「どうぞ。」と言ってみたら、相手の人は気持ちよく、「すみません。」と言って、荷物を渡してくれた。そのときは、ひとに荷物を持ってもらっているとき⑤よりうれしくて、こんなことならもっと早く言えばよかったと後悔したくらいだった。

①ように ()

ア明日はお天気になるようにと妹はてるてる坊主をつるした。

イ遊んでいた子供たちは、くもの子を散らすようにいなくなった。

ウ今年の冬は暖かいように思われる。

②も ()

ア私もいっしょに行きます。

イ中学生になったら、あれもこれもやってみたい。

ウ声をかけたのに彼はあいさつもしない。

③ながら ()

ア友と語り合いながらお弁当を食べるのは楽しい。

イ勉強しなければと思いながらなかなかテレビの前から離れられない。

ウあの人は生きながらえて幸福に暮らした。

④ばかり ()

アここで一時間ばかり休もう。

イ車窓から見渡すかぎり山ばかりの風景だ。

ウここから駅まで十分ばかりかかります。

⑤より ()

アこうなったら待つよりほかに方法はない。

イ私はチューリップよりバラの花がすきです。

ウ新学期は四月一日より始まります。

生 詞

通学する	(サ自)	走读
つかまる〔掴まる〕	(五自)	紧紧抓住
込む	(五自)	拥挤
ふくらむ〔脹む〕	(五自)	鼓起
かばん〔鞆〕	(名)	皮包
にぎりしめる〔握り締める〕	(下一他)	握紧

ふんばる〔 ^た 踏ん張る〕	(五自)	用力叉开两腿
立つ	(五自)	站立
それでも	(接)	尽管如此
じゃま〔邪魔〕	(形动)	碍事、妨碍
ゆれる〔揺れる〕	(下一自)	摇动
たび〔度〕	(名)	时候、每……
のめる	(五自)	向前倒
すわる〔座る〕	(五自)	坐
さしのべる〔差し伸べ る〕	(下一他)	(主动) 伸出
えんりょ〔遠慮〕	(名、サ自他)	客气
えんりょもせずに		毫不客气地
^{わた} 渡す	(五他)	交给、渡过
いつも	(副)	经常、总是
たまに	(副)	偶尔
な	(助)	表示希望实现
ところが	(接)	可是
いざ	(感)	一旦、喂
^は 恥ずかしい	(形)	害臊、羞耻
なかなか (……ない)	(副)	怎么也 (不……)
^い 言 ^だ い出す	(五他)	说出
^{まよ} 迷う	(五自)	犹豫、迷失
うち〔内〕	(名)	时候、之中
^お 降りる	(上一自)	下来
^{おし} 思いきって	(副)	下决心
荷物	(名)	行李、物品